

狩野派
の世界
2018

The Kano School in the Twilight of the Edo Period

狩野派の絵師たちに何が起ったのか？

江戸幕府崩壊

栄華を極め

(上) 狩野一信「五百羅漢図 第22幅」(部分)(増上寺)、(下) 狩野栄信「百鳥図」(部分)(永青文庫)(後期展示)

(上) 狩野永岳「富士山登龍図」(部分)(静岡県立美術館)、(下) 狩野養信「胡蝶船遊之図」(部分)(永青文庫)(前期展示)

開館時間 10:00 ~ 17:30 (入室は17:00まで)
休館日 毎週月曜日(9月17日(月・祝)、9月24日(月・振替)、10月8日(月・祝))は開館、翌日休館
観覧料 一般1000円(800円)、70歳以上500円(400円)、大学生以下無料
* ()内は前売および20名以上の団体料金
* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料
* 収蔵品展・ロダン館も併せてご覧いただけます
主 催 静岡県立美術館、静岡朝日テレビ



静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

2018 9.11(火) — 10.28(日)

前期 9.11(火) — 10.8(月・祝) 後期 10.10(水) — 10.28(日)

幕末狩野派展

2018年は、明治維新によって日本が新しい時代を迎えた1868年から150年という節目の年に当たります。本展では、明治150年を記念して、明治維新を境に日本絵画史が大きく転換する時代の状況に注目し、幕末に活躍した狩野派の絵師たちをご紹介します。

室町時代から続く長い狩野派の歴史のなかで培われた技術や知識を駆使し、時代にあわせて新しい表現をとり入れた幕末狩野派の絵師たちの作品は、気品と清新な魅力にあふれています。近年、江戸時代に活躍した狩野派の研究が進み、幕末狩野派の個性的な画風などが注目され、その評価は高まりつつあります。

本展では、こうした動向を踏まえ、江戸、京都を中心とする19世紀の東西画壇で活躍した狩野派とその系統の絵師に焦点を当てます。江戸で幕末狩野派のスタイルを完成させた狩野栄信・養信親子の画風と、幕末の京都で活躍した狩野永岳・冷泉為恭といった独創的な絵師の画風を比較し、そのうえで、江戸狩野派の流れをくむ、近年人気の狩野一信らの個性に注目することで、幕末狩野派の旺盛な活動の実態に迫ります。さらには、近代日本画の開拓者・狩野芳崖、橋本雅邦へと続く展開を、幕末狩野派の作品から捉えることも試みます。

日本絵画史上まれにみる活躍を見せ、400年にわたり画壇の中心にいた狩野派の絵師たちは、幕末という動乱期に、何を、どのように描いたのか。

典雅で美しく、豊饒な幕末狩野派の世界をご堪能ください。



狩野栄信「角田川真景図」(部分)(東京国立博物館) Image: TNM Image Archives

幕末の歴史ファン必見!

幕末期を彩る絢爛豪華な作品、革新的な作品が集結します

動乱の時代である幕末の物語は時代劇や大河ドラマなどで人々に愛され、その文化に対する関心も高く、今年は、明治150年の記念展として「幕末」をキーワードにした展覧会が数多く開催されています。本展では、幕末期の絵画作品に焦点を当て、幕末の爛熟した文化を感じさせる華麗な作品、尊皇攘夷活動の中で醸成された王朝趣味・復古的な傾向が濃厚に表れた作品、あるいは近代に先駆ける革新的な作品などを通じ、幕末の絵画の個性、きらめきをお楽しみいただきます。



狩野永岳「三十六歌仙歌意図屏風」(左隻)(静岡県立美術館)



冷泉為恭「鷹狩・曲水宴図襖絵」(個人蔵)



狩野一信「五百万両図」第26幅。(増上寺)

江戸絵画ファン必見!

近年の江戸絵画人気を支える、個性派絵師の作品がみられます

近年人気の幕末狩野派の絵師・狩野一信の大作「五百万両図」(増上寺)が展示されます。本展では、幕末狩野派の様式を築いた狩野栄信・養信の作品とともに並べることで、幕末狩野派の個性はどこから生み出されたのか、その創造のルーツをたどります。

狩野派ファン必見!

当館名物の「狩野派の世界」展が復活! 新出作品も多数公開します

当館では「狩野派の世界」展と題し、定期的に狩野派の展覧会を開催しています。本展は、約十年ぶりの「狩野派の世界」展となります。幕末狩野派の有名な大作・傑作以外にも、新出作品や初公開作品が多数展示される点もお見逃しなく。

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2
Tel. 054-263-5755 FAX. 054-263-5767
ウェブサイト | <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>
お問合せ | 総務課: Tel. 054-263-5755 / 学芸課: Tel. 054-263-5857
テレフォンサービス: Tel. 054-262-3737

交通案内 |
・JR「草薙駅」東大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分(運賃: 100円)
・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
・東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

託児サービス | (無料 日曜日・祝日のみ利用可)
時間: 10:30 ~ 15:30
対象年齢: 6か月~小学校就学前
※お預かりできる時間は2時間以内です。
※ご利用が集中した場合はお受けできない場合がございます。

〈会期中イベント〉

特別講演会 ※当館講堂、無料、座席指定

講師: 安村敏信氏(北斎館館長)

「幕末狩野派の変貌」

9月22日(土) 14:00 ~ 15:30

特別講演+対談 ※当館講堂、無料、座席指定

講師: ロバートキャンベル氏(国文学研究資料館館長)

「アートは2階、奥のお座敷で」

聞き手: 木下直之(当館館長・東京大学教授)

10月6日(土) 14:00 ~ 15:30

※特別講演会、特別講演+対談は事前申込制です。往復はがき以下の内容を記載頂き、お申込ください。

往信面=氏名・住所・電話番号・申込む講演名・希望人数

(2名まで)、返信面=郵便番号・住所・氏名

(宛先)〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 静岡県立美術館

「特別講演会・講演+対談」係

(締切)特別講演会 9月1日(土)必着

特別講演+対談 9月15日(土)必着

※定員250名を超えた場合は抽選とし、結果は各締切の14日後をめどにお知らせします。記入漏れがありますと、落選扱いとなりますのでご注意ください。

館長美術講座

※当館講堂、申込不要、無料、先着250名

講師: 木下直之(当館館長・東京大学教授)

「『暁斎画談』を読む」

10月21日(日) 14:00 ~ 15:30

美術講座 ※当館講座室、申込不要、無料、先着40名

講師: 野田麻美(当館学芸員)

「典雅・美麗・豊饒なる世界—幕末狩野派作品の魅力堪能する」

10月14日(日) 14:00 ~ 15:30

フロアレクチャー ※集合同所: 企画展第1展示室

申込不要、要観覧料

当館学芸員が展示室にて解説を行います。

9月30日(日)、10月27日(土) いずれも14:00 ~

実技講座 ※当館実技室、事前申込制(申込方法・内容詳細は約1ヶ月前に美術館ホームページまたは館内配架チラシでお知らせします)

講師: 鈴木強氏(日本画家)

「日本画・金箔貼り 扇面に描く」

9月22・23日(土・日) 各日10:00 ~ 16:30

〈チケット販売所〉

前売り券は9月10日(月)まで販売

[前売・当日券] チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブンイレブン(Pコード共通: 769-088)、ローソンチケット、ミニストップ(Lコード共通: 43467)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館

[前売券のみ] 大和文庫、戸田書店(静岡本店・江尻台店)、谷島屋(バルシェ店・マークイズ静岡店)、吉見書店(竜南店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗

〈次回展覧会〉

「ふじのくに芸術祭2018」

11月3日(土・祝) ~ 11月14日(水)

「めがねと旅する美術展—視覚文化の探究」

11月23日(金・祝) ~ 2019年1月27日(日)

(静岡市美術館展覧会のご案内)

「ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生」

7月28日(土) ~ 9月24日(月・祝)

